

<本校男子>

【実技の状況について】

- 握力(筋力)
→全国平均とほぼ同程度である。
- 上体起こし(筋パワー、筋持久力)
→全国平均を下回っている。
- 長座体前屈(柔軟性)
→全国平均を下回っている。
- 反復横跳び(敏捷性)
→全国平均とほぼ同程度である。
- 20mシャトルラン(全身持久力、長距離走能力)
→全国平均を下回っている。
- 50m(疾走能力)
→全国平均を下回っている。
- 立ち幅跳び(筋パワー、跳躍能力)
→全国平均を下回っている。
- ソフトボール投げ(巧緻性、投球能力)
→全国平均とほぼ同程度である。

【児童生徒質問紙について】

- 運動・スポーツが好き、やや好き
→93.6%(全国平均93.0%)
- 体育の授業は楽しい、やや楽しい
→100%(全国平均94.6%)
- 体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合
→10.0%(全国平均7.2%)
- 健康であるために運動を行うことが大切、やや大切
→100%(全国平均96.1%)
- 健康であるために食事をしっかりと取
ることは大切、やや大切
→100%(全国平均98.9%)
- 健康であるためによく寝ることは大切、
やや大切
→93.6%(全国平均97.0%)

<本校女子>

【実技の状況について】

- 握力(筋力)
→全国平均を下回っている。
- 上体起こし(筋パワー、筋持久力)
→全国平均を下回っている。
- 長座体前屈(柔軟性)
→全国平均とほぼ同程度である。
- 反復横跳び(敏捷性)
→全国平均とほぼ同程度である。
- 20mシャトルラン(全身持久力、長距離走能力)
→全国平均を下回っている。
- 50m(疾走能力)
→全国平均を下回っている。
- 立ち幅跳び(筋パワー、跳躍能力)
→全国平均を下回っている。
- ソフトボール投げ(巧緻性、投球能力)
→全国平均を上回っている。

【児童生徒質問紙について】

- 運動・スポーツが好き、やや好き
→91.9%(全国平均86.4%)
- 体育の授業は楽しい、やや楽しい
→100%(全国平均90.7%)
- 体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合
→5.4%(全国平均13.2%)
- 健康であるために運動を行うことが大切、やや大切
→100%(全国平均96.2%)
- 健康であるために食事をしっかりと取
ることは大切、やや大切
→100%(全国平均99.3%)
- 健康であるためによく寝ることは大切、やや大切
→100%(全国平均98.7%)

今回の調査結果の傾向

【実技の状況について】

- 全体的に全国平均を下回っている。

□特に、以下の種目で全国平均との開きが大きいが、課題として挙げられる。

・男子→長座体前屈(柔軟性)、20mシャトルラン(全身持久力、長距離走能力)

・女子→20mシャトルラン(全身持久力、長距離走能力)、立ち幅跳び(筋パワー、跳躍能力)

【運動習慣等について】

□「体育の授業は楽しい」と考える子どもの割合は高い値を維持しており、意識の高さが伺える。

□健康三原則の意識が高い一方、体育の時間以外に運動をしない子どもの割合が7.5%である。ほとんど運動をしない子供に対する取組に課題がある。

改善の方向

○全身持久力や敏捷性を高めるのに有効とされる「なわ跳び運動」の取組や「柔軟性を高める運動」の継続・充実を図っていく。

○運動が苦手な子どもも、意欲的に学ぶことができる指導を工夫することで、どの子どもも「運動が楽しい」と実感できる授業の充実を図っていく。

○家庭と連携し、健康三原則に基づく生活習慣の確立を図るための取組の充実を図っていく。